

滋賀県省エネ診断支援事業アンケート調査結果について

令和3年12月

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

滋賀県省エネ診断支援事業アンケート調査結果について

当プラザでは、平成 24 年度から省エネ診断支援事業を実施しており、令和 3 年 12 月末時点で 371 件の事業所に対して専門家を派遣しました。派遣後一定の期間が経過したことから、アンケート調査を実施し事業効果の把握を行っています。今年度は、令和元年度に実施した 62 社を対象に調査しました。

I. 調査概要

1-1. 回答数・回答率

調査対象企業 62 社に対して調査したところ、有効回答は 24 社・回答率は 38.7%でした。

1-2. 調査方法

1. 目的

省エネ診断支援事業・専門家派遣¹を実施した企業の事業効果の把握のためにアンケート調査を実施する。

2. 調査期間

令和 3 年 10 月 1 日（金）～10 月 29 日（金）

3. 調査期限

令和 3 年 10 月 29 日（金）

4. 調査対象者

令和元年度に省エネ診断を実施した 62 社

5. 送付方法と回収方法

送付 アンケート用紙を郵送

回収 FAX

6. 問い合わせ先

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 販路開拓課 佐藤

電話 077-511-1413 FAX 077-511-1418

¹ 省エネ診断支援事業・専門家派遣は、平成 24 年度からプラザで実施

II. 調査結果

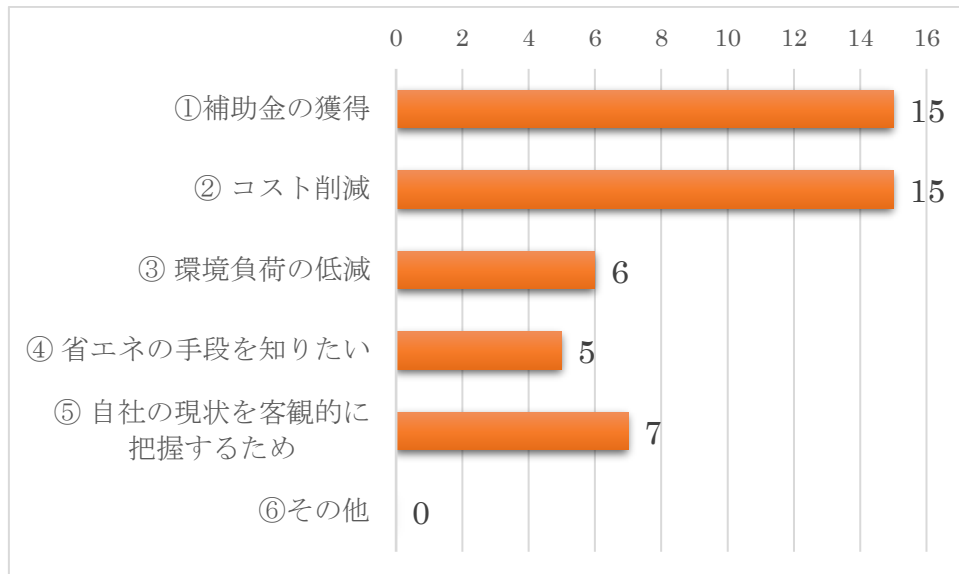
調査対象企業 62 社に対して、24 社からの回答があり、回答率は 38.7%であった。

2-1. 省エネ診断について

1. 省エネ診断・専門家派遣を活用した理由

当事業を実施した目的は、「補助金の獲得 (15 社)」と「コスト削減 (15 社)」のためが 1 位であった (図表 1)。

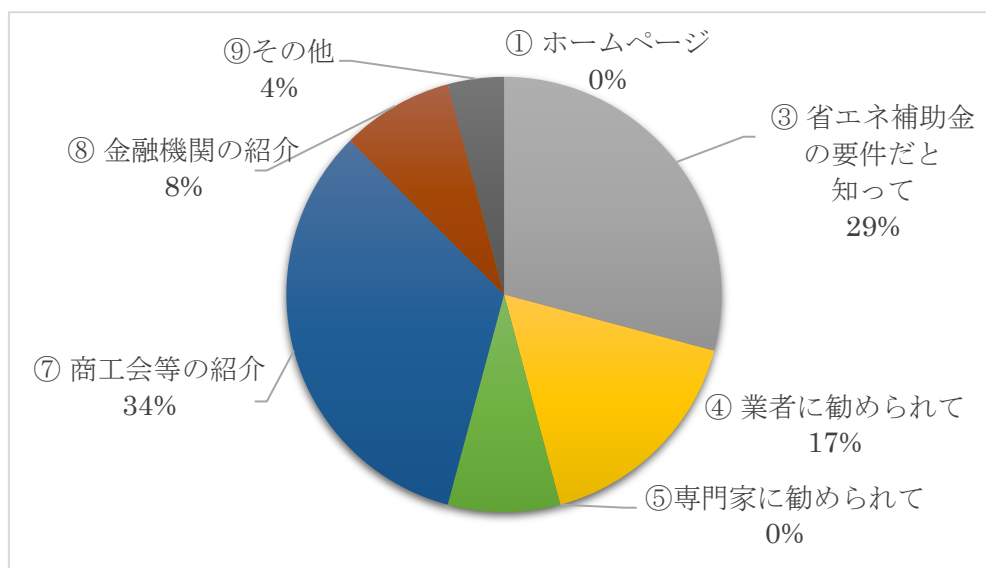
図表 1 省エネ診断・専門家派遣を活用した理由 (複数回答)



2. 省エネ診断事業を知った理由

「商工会の紹介 (34%)」、「省エネ補助金の要件だと知って (29%)」、「業者に勧められて (17%)」、「金融機関の紹介 (8%)」という順だった。

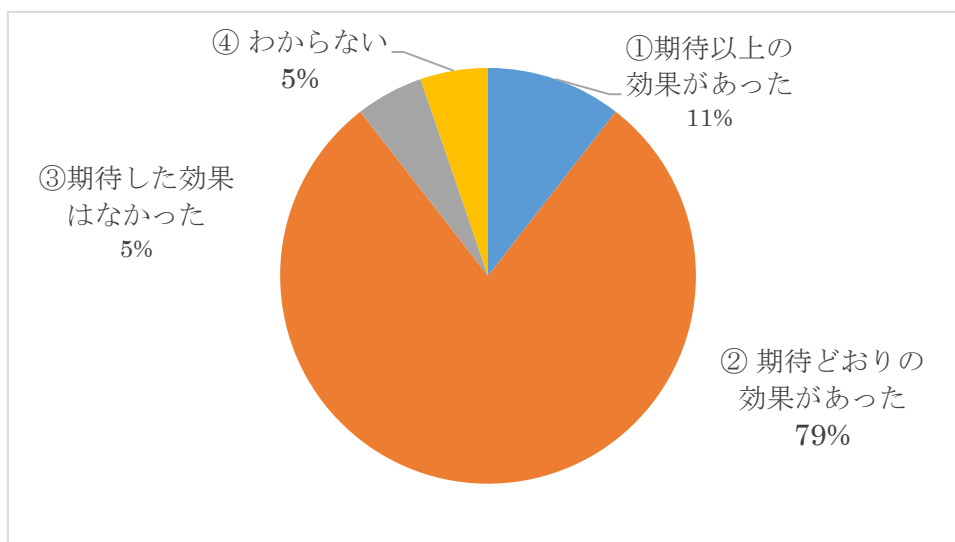
図表 2. 省エネ診断を知った媒体



3. 省エネ診断（専門家派遣）の効果

「期待どおりの効果があった（79%）」、「期待以上の効果があった（11%）」を併せて9割の企業が、効果があったと回答している。

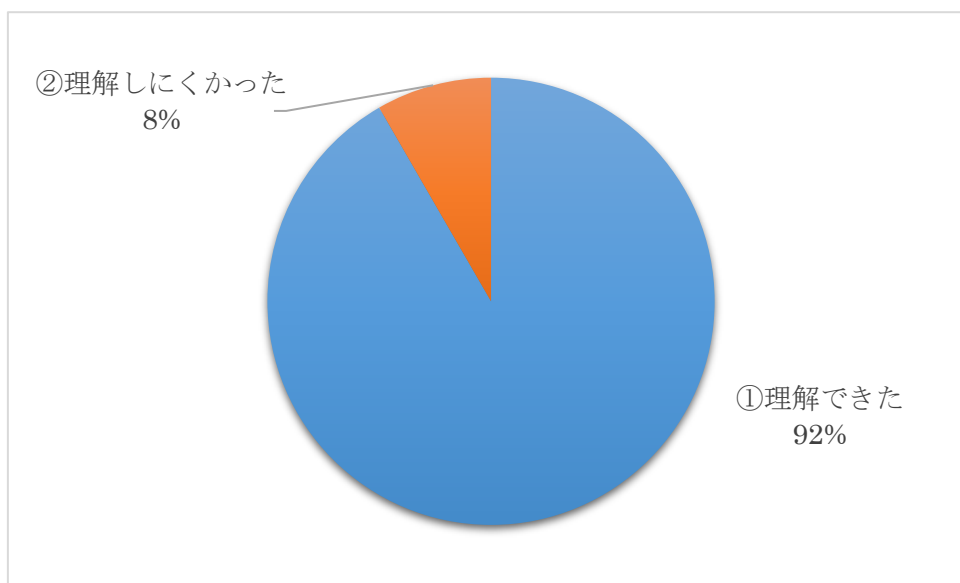
図表3 省エネ診断（専門家派遣）の効果



4. 省エネ診断（専門家）の報告内容

専門家から提出された報告書の内容について、ほとんどが「理解できた（92%）」という結果であった。

図表4 省エネ診断（専門家）の報告内容

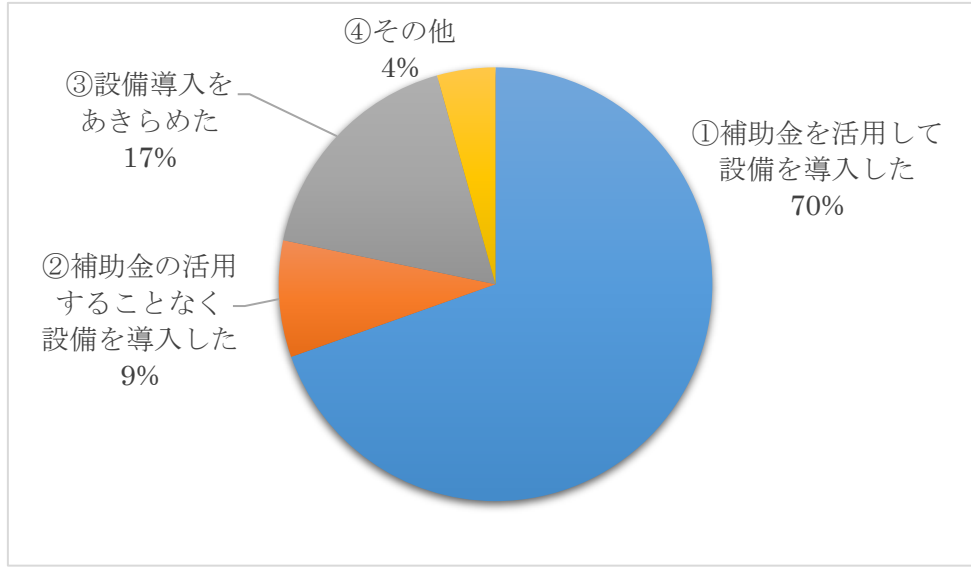


2-2. 省エネ診断のその後

1. 設備の導入について

省エネ設備について、70%の企業が「補助金を活用して設備を導入」している。中には、「設備導入をあきらめた（17%）」また、「補助金を活用することなく設備を導入した（9%）」という回答もあった。

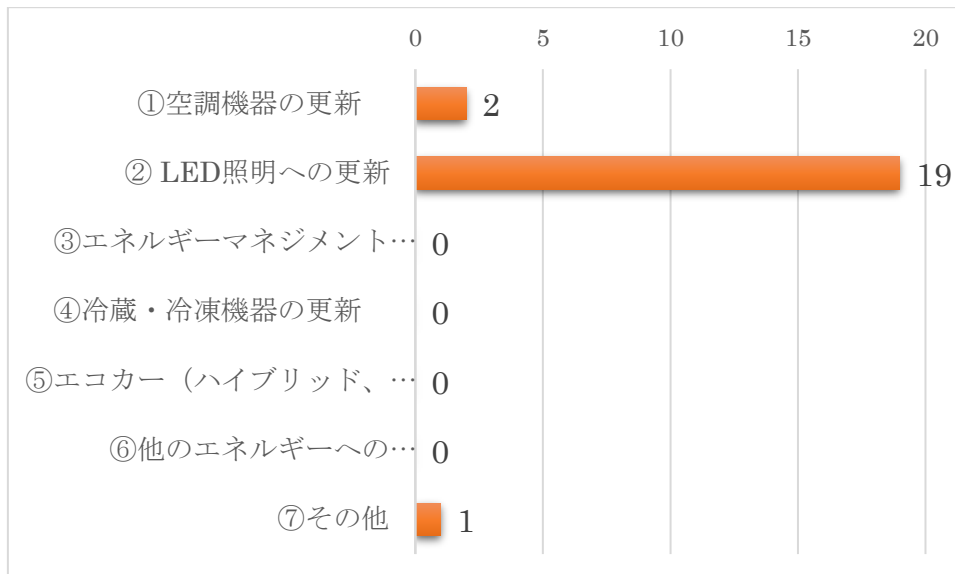
図表5 省エネ設備の導入について



2. 導入した設備の種類

導入された設備は、「LED照明への更新（19社）」が最も多く、「空調機器の更新（2社）」と続いている。

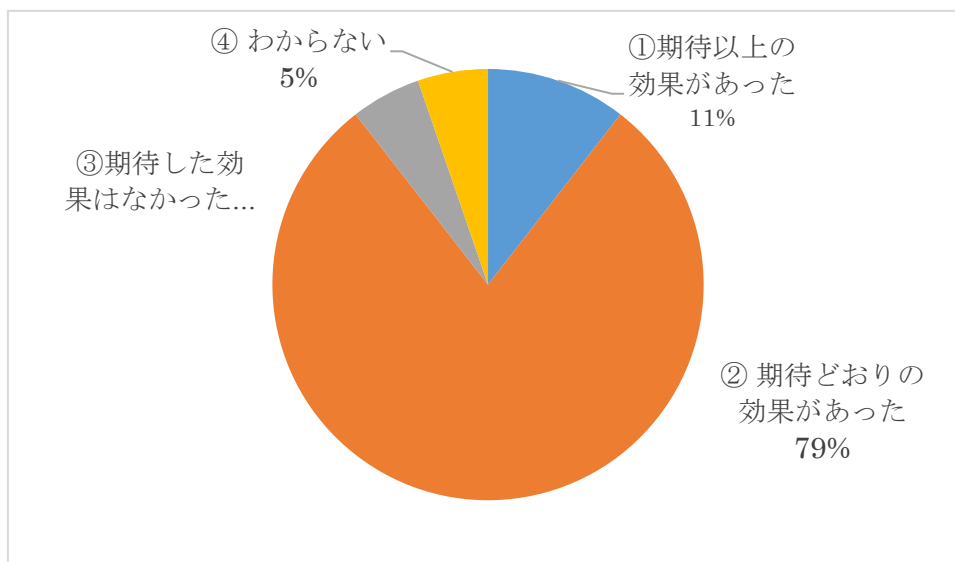
図表6 導入した設備の種類（複数回答）



3. 設備導入の効果

「期待どおりの効果があった（79%）」、「期待以上の効果があった（11%）」を併せて9割の企業が、効果があったと回答している。

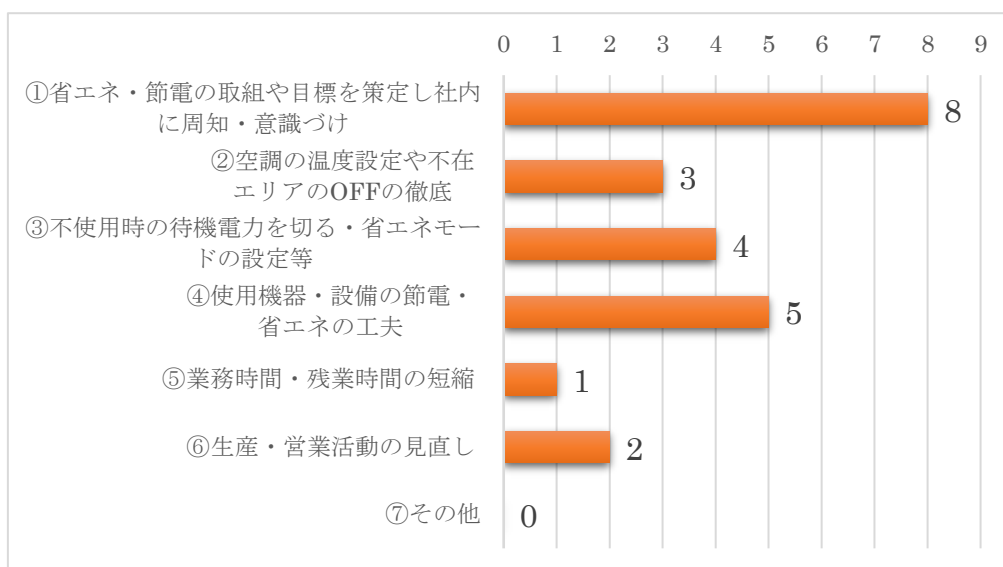
図表7 設備導入の効果



4. 運用面での取組み

「省エネ・節電の取組や目標を策定し社内に周知・意識づけ（8社）」が最も多く、「使用機器・設備の節電・省エネの工夫（5社）」、「不使用時の待機電力を切る・省エネモードの設定等（4社）」、「空調の温度設定や不在エリアのOFFの徹底（3社）」と続いている。

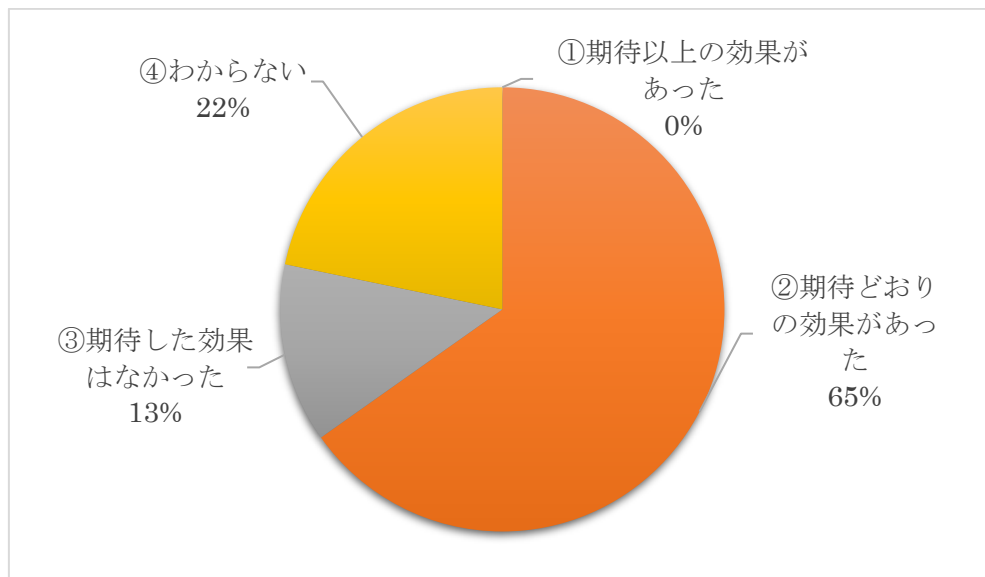
図表8 運用面での取組み（複数回答）



5. 運用面での取組の効果

運用面の取組みを行った結果、「期待どおりの効果があった（65%）」、「わからない（22%）」「期待した効果はなかった（13%）」。6割以上の企業が効果があったと回答している。

図表9 運用面での取組の効果

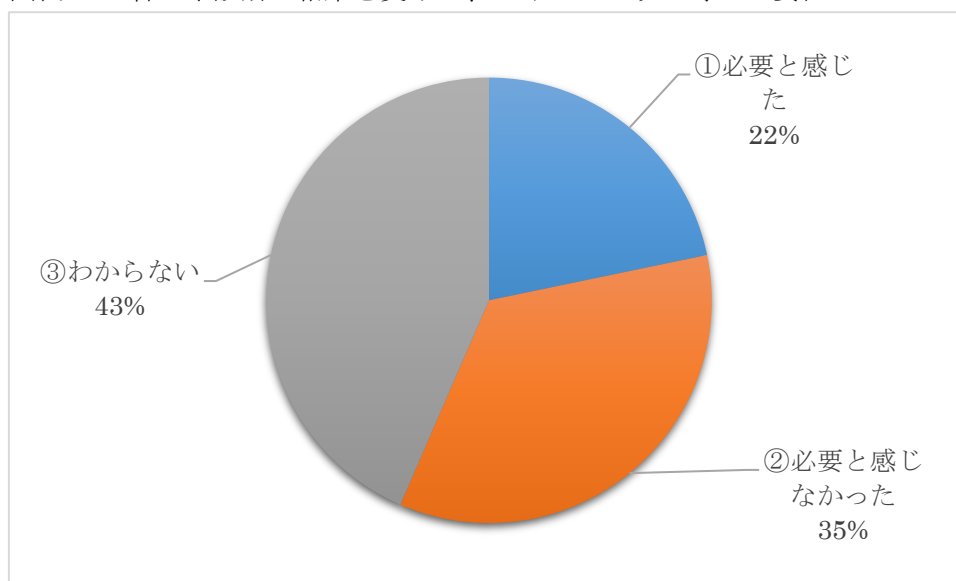


2-3. 今後の施策等について

1. フォローアップ等の必要性

「必要と感じない（35%）」「わからない（43%）」が8割あるが、「必要と感じた（22%）」企業もあり、下記の理由から具体的な取り組み方法などのフォローアップを必要としている企業もある。

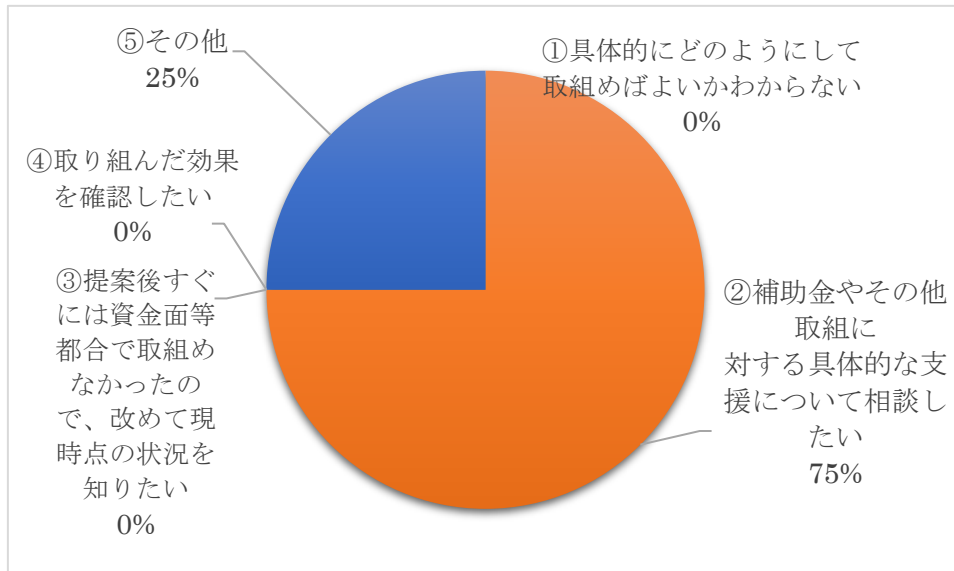
図表10 省エネ診断の結果を受けて、フォローアップ等の必要性



2. フォローアップの必要を感じた理由は何ですか

「補助金やその他取組に対する具体的な支援について相談したい」が75%となっている。

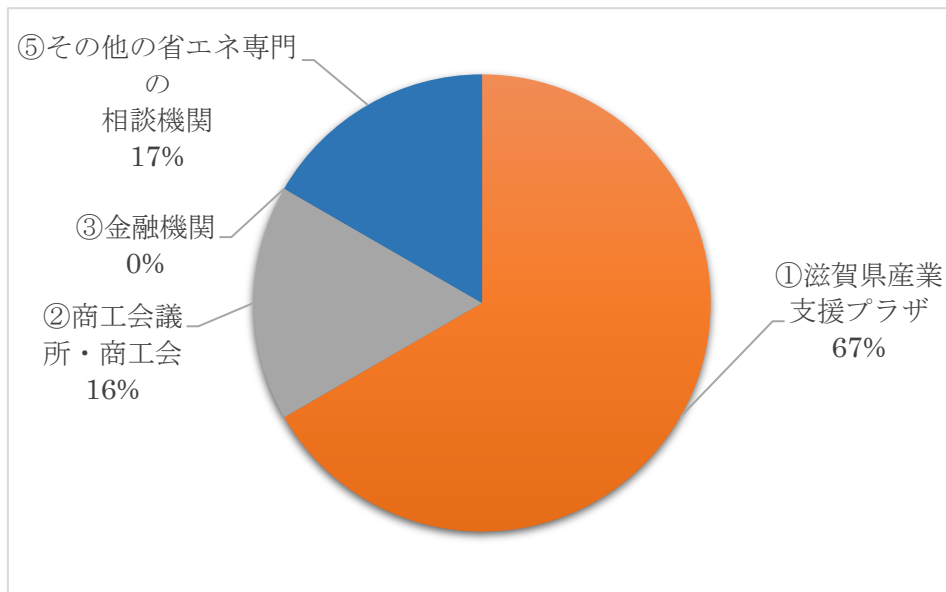
図表 11 フォローアップの必要を感じた理由



3. フォローアップ等を受けるとすれば、どちらの機関が良いですか

「滋賀県産業支援プラザ（67%）」、「その他の省エネ専門の相談機関（17%）」、「商工会議所・商工会（16%）」という結果だった。

図表 12 フォローアップを受ける機関について



2-4. エネルギー使用量

1. エネルギー使用量（診断前と診断後）

省エネ診断を実施する前後1年間のエネルギー使用量について調査した。有効回答は15社だった。回答された数値を原油換算²したところ、診断前62,579K1に対して診断48,790K1と減少している。

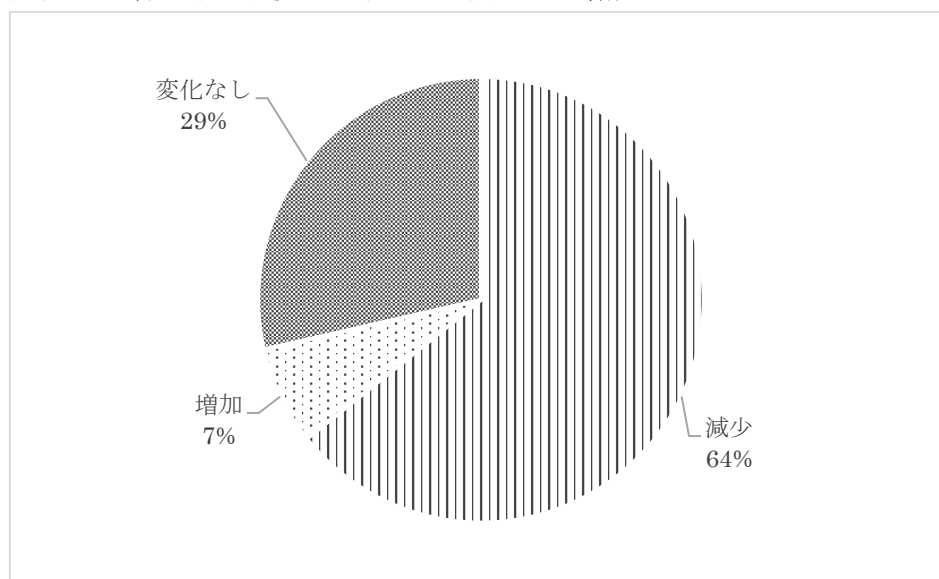
図表13 エネルギー使用量（診断前と診断後） 単位 K1

診断前	診断後
2,375	1,719

2. エネルギー使用量（増減）

エネルギー使用量の増減の割合は、「減少（64）」、「増加（7）」、「変化なし（29）」という結果だった。

図表14 省エネ診断後のエネルギー使用量の増減



² エネルギー使用量の簡易計算表の換算係数を掛けて原油換算を行った。換算係数は次のとおり。揮発油 34.6、灯油 36.7、軽油 37.7、A重油 39.1、LPG50.8、都市ガス 45、昼間買電 9.97、夜間買電 9.28

3-1. 省エネ診断に対するご要望

自由記入により要望を尋ねたところ、下記のようなコメントがありました。

■電気代が50%安くなりました。

4-1. その他自由記入

下記のような感想や要望をいただきました。

■省エネ診断を受けさせていただいてから、社内でもよくその件で話をするようになり、従業員さんの考えが変わったのが、大きな効果でした。ありがとうございました。

■エネルギー使用量は減少しましたが、「省エネ効果」というよりはコロナ禍で仕事量が激減したためです。

■コロナ救済のため地元の発行したクーポンにより売上が増え、稼働時間が増えたため、電力使用量が増加し、省エネ効果がよくわからなかった。